

へい殺畜等手当金等交付規程等の一部を改正する件 新旧対照表
 ○動物用生物学的製剤基準（平成14年10月3日農林水産省告示第1567号）

（下線の部分は改正部分）

改正後	改正前
<p>ワクチン（シードロット製剤）の部</p> <p>アカバネ病・チュウザン病・アイノウイルス感染症混合（アジュバント加）不活化ワクチン（シード）</p> <p>1・2 （略）</p> <p>3 試験法</p> <p>3.1 製造用株の試験</p> <p>3.1.1 マスターシードウイルスの試験</p> <p>3.1.1.1～3.1.1.3 （略）</p> <p>3.1.1.4 外来性ウイルス否定試験</p> <p>3.1.1.4.1 （略）</p> <p>3.1.1.4.2 特定ウイルス否定試験</p> <p>3.1.1.4.2.1 （略）</p> <p>3.1.1.4.2.2 個別ウイルス否定試験</p> <p><u>牛ウイルス性下痢ウイルス</u>、<u>ロタウイルス</u>、<u>牛伝染性リンパ腫ウイルス</u>、<u>日本脳炎ウイルス</u>及び<u>狂犬病ウイルス</u>について、一般試験法の外来性ウイルス否定試験法の1.1、3.2.5、3.2.7、3.2.8及び3.2.9を準用して試験するとき、適合しなければならぬ。</p> <p>3.1.2・3.1.3 （略）</p> <p>3.2 株化細胞の試験</p> <p>3.2.1 マスターセルシードの試験</p> <p>3.2.1.1～3.2.1.4 （略）</p> <p>3.2.1.5 外来性ウイルス否定試験</p> <p>3.2.1.5.1 （略）</p> <p>3.2.1.5.2.2 個別ウイルス否定試験</p> <p><u>牛ウイルス性下痢ウイルス</u>、<u>ロタウイルス</u>、<u>牛伝染性リンパ腫ウイルス</u>、<u>日本脳炎ウイルス</u>及び<u>狂犬病ウイルス</u>について、一般試験法の外来性ウイルス否定試験法の1.2、3.2.5、3.2.7、3.2.8及び3.2.9を準用して試験するとき、適合しなければならぬ。</p>	<p>ワクチン（シードロット製剤）の部</p> <p>アカバネ病・チュウザン病・アイノウイルス感染症混合（アジュバント加）不活化ワクチン（シード）</p> <p>1・2 （略）</p> <p>3 試験法</p> <p>3.1 製造用株の試験</p> <p>3.1.1 マスターシードウイルスの試験</p> <p>3.1.1.1～3.1.1.3 （略）</p> <p>3.1.1.4 外来性ウイルス否定試験</p> <p>3.1.1.4.1 （略）</p> <p>3.1.1.4.2 特定ウイルス否定試験</p> <p>3.1.1.4.2.1 （略）</p> <p>3.1.1.4.2.2 個別ウイルス否定試験</p> <p><u>牛ウイルス性下痢-粘膜病ウイルス</u>、<u>ロタウイルス</u>、<u>牛白血病ウイルス</u>、<u>日本脳炎ウイルス</u>及び<u>狂犬病ウイルス</u>について、一般試験法の外来性ウイルス否定試験法の1.1、3.2.5、3.2.7、3.2.8及び3.2.9を準用して試験するとき、適合しなければならぬ。</p> <p>3.1.2・3.1.3 （略）</p> <p>3.2 株化細胞の試験</p> <p>3.2.1 マスターセルシードの試験</p> <p>3.2.1.1～3.2.1.4 （略）</p> <p>3.2.1.5 外来性ウイルス否定試験</p> <p>3.2.1.5.1 （略）</p> <p>3.2.1.5.2.2 個別ウイルス否定試験</p> <p><u>牛ウイルス性下痢-粘膜病ウイルス</u>、<u>ロタウイルス</u>、<u>牛白血病ウイルス</u>、<u>日本脳炎ウイルス</u>及び<u>狂犬病ウイルス</u>について、一般試験法の外来性ウイルス否定試験法の1.2、3.2.5、3.2.7、3.2.8及び3.2.9を準用して試験するとき、適合しなければならぬ。</p>

(略)

(略)